

学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成29年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立川越南高等学校	Cグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	学校の伝統などを踏まえて目指す学校像が設定されている。学校の現状や課題などを分析・整理して、新たなステージに向けた更に明快かつ具体的な学校像を模索していただきたい。
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	学校情報の積極的な発信など、学校の取り組むべき方向が設定されている。保護者・地域などの期待や生徒の実態を踏まえ、中期的な視点から、課題などを検討・整理して、一層のレベルアップに向けて具体的な目標とすることが望まれる。
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	学校全体のシートを踏まえて分掌・学年等のシートが作成されるなど、重点目標達成のための取組が進められている。学校自己評価システムが十分機能するように、分掌間などの連携を強化し、教職員全体や学校関係者が参画するように更に工夫していただきたい。
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	文部科学省指定事業や学校新聞の地域への配布など、評価項目の達成に向けた方策が実施されている。方策の実施を更に組織的なものとするとともに、評価指標が評価項目の達成状況を評価し、取組について検証できるものとなるよう工夫することが望まれる。
	校長的的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長は学校自己評価システムを生かした組織的な学校経営に取り組んでいる。校長的的確なリーダーシップの下、教職員が学校の目指す方向について議論し共通理解を深め、課題の解決に向けて学校全体として更に組織的に取り組むことが期待される。
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	アンケートにおいて保護者と生徒に同一の質問を行い結果を分析し、取組を検証している。年度評価・学校関係者評価などを基に課題を明確にして、次年度の目標・方策に引き継ぎ、解決に向けて取り組んでいる。
特記事項		